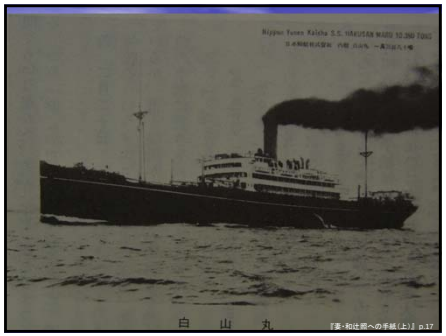
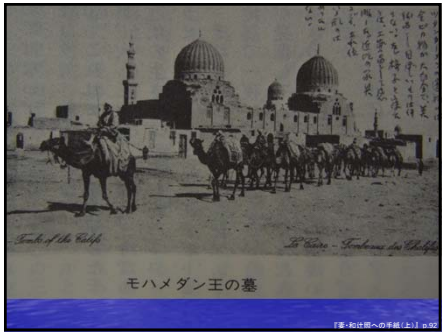
日本比較文学会 第73回全国大会
九州産業大学
2011年6月18-19日

ワークショップ II
「欧州航路の比較文学：
和辻哲郎の『風土』を中心に」

国際日本文化研究センター
稲賀繁美





凱旋門（マルセイユ）

『妻・和辻哲への手紙（上）』p.51

パリのパンテオン

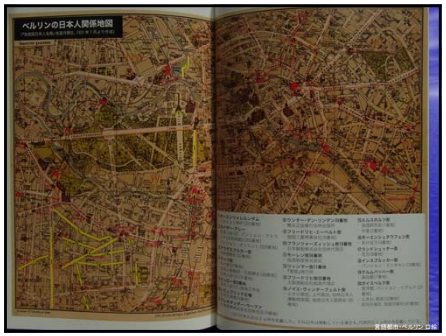
『妻・和辻哲への手紙（下）』p.19

カーライルの庭にて（右から2.人目が著者）

『妻・和辻哲への手紙（上）』p.237

（チェス）に興じる、和辻（左）と出藤（右）。この写真は、和辻哲郎『故国の妻へ』の口絵に使われた。

書簡都市ベルリン p.285



『書簡都市ベルリン』p.48

《馬拉加（マラッカ）の船着き場》 土田麦僊

『欧洲藝術巡礼紀行』p.25

《新嘉坡（シンガポール）埠頭所見》 野長瀬晩花

『欧洲藝術巡礼紀行』p.27

《古倫母（コロンボ）にて》
小野竹橋

『欧洲藝術巡礼紀行』p.31

《蘇士（スエズ）港頭》 土田麦僊

『欧洲藝術巡礼紀行』p.35

《埃及（エジプト）にて》 野長瀬晩花
『歐洲藝術巡禮紀行』 p.37

《アラブの行商人》 黒田重太郎
『歐洲藝術巡禮紀行』 p.43

《セーヌ河岸》 小野竹橋
『歐洲藝術巡禮紀行』 p.51

《コロセオ》 小野竹橋
『歐洲藝術巡禮紀行』 p.52

《アッシシの町》小野竹橋
『歐洲藝術巡禮紀行』 p.125

《サン・フランチエスコ寺》 土田麥僊
『歐洲藝術巡禮紀行』 p.127

《オテル・スパシオより見たる聖フランチエスコ寺》
黒田重太郎
『歐洲藝術巡禮紀行』 p.129

《ポンテ・ヴェツキオ》 小野竹橋
『歐洲藝術巡禮紀行』 p.133

《小運河の一角》 黒田重太郎
『歐洲藝術巡禮紀行』 p.152

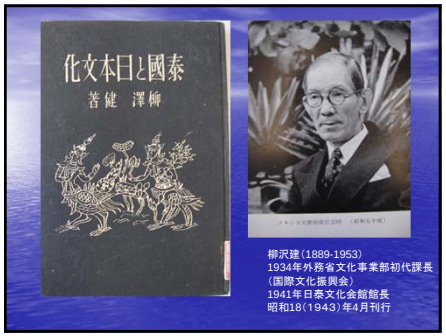
美術研究所創設当時の矢代幸雄 (1930年頃)
Yashiro Yukio in the founding days of the
Institute for Art Research, ca. 1930

Madonna del Libro, 1480-81
Sandro Botticelli
Museo Poldi Pezzoli, Milano
サンドロ・ボッティチェリ《書物の聖母》
ミラノ・ポルディ・ペッツォーリ美術館

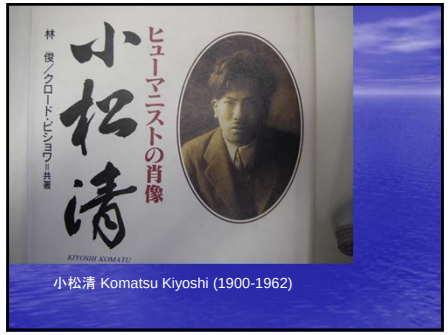
Sandro Botticelli, *Primavera*
Florence

ボチチエリ
「春」グレースの白き足

Botticelli, *Primavera*
(detail)



柳沢建(1889-1953)
1934年外務省文化事業部初代課長
(国際文化振興会)
1941年日泰文化会館館長
昭和18(1943)年4月刊行

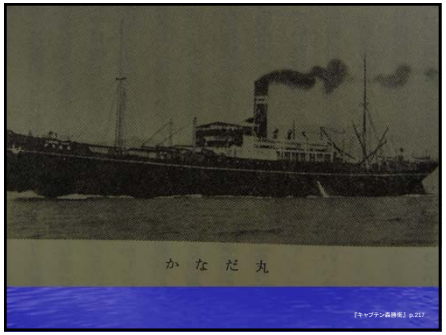


小松清 Komatsu Kiyoshi (1900-1962)

森勝衛 (1890-1989)

かなだ丸船長時代

『キャプテン森勝衛』口絵



『キャプテン森勝衛』p.217

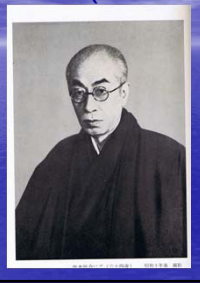
森勝衛（1890-1989）
1926年（大正15年）、
東南アフリカ航路開拓　第1船
かなだ丸船長に就任のころ

『キャプテン森勝衛』 日本

《かなだ丸》
野間恒, 山田廸生共編　『日本の客船』 海人社　1991年

NASA のBlue Marble
データをもとに、国立情報学研究所制作

Shimazaki Tôson(1872-1943)



Kasato-maru,
the ship which sent the first Japanese immigrants to brazil in 1916